

第176回 関西広域連合委員会

日時：令和7年4月24日（木）

場所：大阪府立国際会議場

10階 会議室1004～1007

開会 16時43分

○三日月広域連合長 　　少し予定の時刻を過ぎてしまいましたが、ただいまから第176回関西広域連合委員会を開催します。

　　議事に先立ちまして、去る4月15日、仲間であり、一緒に頑張ってきました岸本周平和歌山県知事が御逝去されました。ここで、皆で岸本委員の御冥福を祈り、黙禱を捧げたいと思います。黙禱。

　　お直りください。

　　まだ信じられないところもありますが、岸本委員であれば「元気に頑張れ」とおっしゃるでしょうから、皆で力を合わせて盛り上げられるように頑張りたいと思います。

　　それではまず、「大阪・関西万博の関西パビリオンの状況等について」を議題とします。

　　この議題は、大阪・関西万博 関西パビリオン企画委員会として開催いたしますので、福井県、三重県さんにもオンラインで御参加いただきます。

　　まず、本部事務局から御説明をお願いします。

○本部事務局 　　大阪・関西万博、関西パビリオンの取組状況等につきまして来館者、それから開幕後の様子について御報告します。

　　まず、資料の1を御覧ください。まず、2ページ目でございます。こちら開幕前のテストラン、それから開幕後から4月21日までの来館者の状況でございます。

　　（A）の展示ゾーンにおける来館者数ですけれども、こちらは平均して1日当たり

4,000人が来館しまして、開幕から8日目となります20日の時点では、関西パビリオンの来館者数は3万人も突破しています。この関西パビリオンの定員の考え方ですけれども、安全かつ快適に御観覧いただけるように、センターサークル部分での渋滞をできるだけ少なくするため、1時間当たり定員400名程度に設定しています。1日当たりの総収容人数で換算しますと、開館時間から最終入館の20時30分まで、15分間隔で入場して、4,500名と設定しています。右から2枠目がその定員に対する収容率の状況ですけれども、こちらは開幕以降、定員の85%と満員に近い状態が続いているところです。

また、催事を行います多目的エリアでは、現在26日までの予定で奈良県の催事が行われていますが、こちらも多くの方でにぎわってしまっていて、この多目的エリア、それから展示ゾーンを合わせますと、1日当たり平均8,000人ほどの方に御来館いただいております。当初、関西パビリオンの入場目標者数の6,000人を大きく上回っている状況が続いています。

また、この多目的エリアでは、来週から始まりますゴールデンウィークの期間中につきましても、4月29日から京都府、5月6日からは和歌山県と、関西の魅力をPRするような催事が週替わりで予定されているところです。

また、今後は暑さも本格化してくることから、より安全に多くの方に御来館いただけるよう関係府県とも課題を共有しながら、改善に努めていけたらと考えています。

次に、現在のパビリオンの状況です。3ページを御覧ください。こちらは内部からライトアップされた関西パビリオンが暗がりに浮かび上がる様子を、大屋根リングのほうから撮影した写真です。

続く4ページ、5ページにつきましては、開幕後ににぎわっております各府県の展示ゾーン等の状況です。

また、最後に各種メディアを通じて関西パビリオンの魅力を伝えていただくために、特に印象に残るようなイメージ画像を現在、本部事務局で準備、選定を進めていると

ころです。

説明は以上です。

○三日月広域連合長　　おかげさまで、この大阪・関西万博が開幕し、10日あまりが経過し、大変多くの方々に御来場いただき、お楽しみいただいているという状況ですので、今日的な課題等も含めて共有し、これからより暑くなるとか、より多くの方に来ていただくために、どのように応えていくのか併せて議論できればと思いますが、御意見や御質問等ございますでしょうか。

吉村委員、どうぞ。

○吉村委員　　先ほど広域連合長からもありましたけれど、開幕して11日目で、昨日100万人を突破しました。非常に多くの方がいらっしゃってますし、会場に僕も連日足を運んでいますけれど、非常に皆さん笑顔で、楽しい思いをされていると思います。これからさらに増えてくると予測される様々な課題について、日々改善しながら、一人一人の方ができるだけ楽しんでいただける、それをつくっていくことが重要だろうと思います。

その中で、せっかく皆でやってきたわけですから、一度皆で関西パビリオンのPRに、現地に視察行くのはどうなのかなと思います。開幕前や開会式において、メディアへのオープンをやったと思いますけれど、実際、今も多くの人が入られているので、雰囲気も全然違いますし、関西パビリオンがここにあるんだということを皆さんでPRして行くというのは一つの方法じゃないかなと思うんですけども。すみません。いきなりの提案で。

○三日月広域連合長　　ありがとうございます。

開幕後の関西パビリオンをまだ御覧になっていない方とか、隣にある大阪ヘルスケアパビリオンと一緒ににぎわいの状況も確認しながらPRの機会をつくるというのはいいことだと思いますので、ちょっと時期とか、やり方とか、また考えて御相談したいと思いますのでよろしくお願いします。

○吉村委員　　今、奈良のマーケットをやって、その後の計画をちょっと僕も聞いたんですけれど、冒頭、岸本知事の御冥福を祈るということで黙禱しましたから、和歌山のイベントのときに、皆で和歌山の法被を着て、岸本知事がいらっしゃらない分PRするのもいいと思います。

あるいは、それが難しければ皆それぞれの法被を着ながら、でも、関西は一つだということで、関西パビリオンのPRをやったらいいんじゃないかなと思うので、ぜひ検討してもらえたらと思います。

○三日月広域連合長　　ありがとうございます。

ちなみに和歌山のウィークっていつでしたか。

○本部事務局　　和歌山県ウィークは、5月6日から18日までです。

○三日月広域連合長　　なるほど。今御提案のあったようなことも含めて、どういう時期にどういうやり方をすればいいのか、急ぎ検討したいと思います。ちょうど大阪ウィークもその頃か。

○吉村委員　　大阪ウィークは5月9日からだったかな。そこは分けて考えてもらってもいいと思います。関西の広域連合なので、関西パビリオンのPRということで。

○三日月広域連合長　　5月中旬にワールドマスターズゲームズの台湾出張があるので、その前にもしできれば。

○吉村委員　　早めのほうがいいと思います。今、いろんな海外パビリオンも開館式をやってる時期なので、この時期はいいんじゃないかなと。

ナショナルデーも結構前半が多いので、関西パビリオンや関西をPRするという意味では早い方がいいかなという気はしますね。

○齋藤委員　　ちなみに、私、26日に兵庫のイベントがあって万博に行きますけど、ちょっと急過ぎますよね。

○三日月広域連合長　　ちょっとそういうことも含めて、皆さんがどういう形で参加されるのか伺った上で、一番いいやり方を、できるだけ早めにそろってPRできるよ

うに考えてみたいと思います。

○吉村委員　あともう一点ですが、関西パビリオンの、先ほどの予約の状況等もあって、非常に人気で、予約枠が15分単位で100名となってるんですけど、昨日の夕方ぐらいだったかな、僕、中には入ってないんですけど外からちょっと見させてもらって、横山委員は実際中に入って、現場の方もお話されたということですけど、もう少し入る方を増やせないか。

○三日月広域連合長　実はそういう話は既に出始めて、この数字にも出ているように、館内収容人数4,500人で、ほんまに4,500人しかあかんのかとか、あと、これがあるがために、待って当日来て入れない方がいらっしゃるので、もうちょっとそのあたり柔軟に運用してもいいんじゃないかということは言われています。

○吉村委員　そうですね。完全予約制になっているんですけど、中を見るとそこまでワァーとなっている状況でもなく、入りたい方もいらっしゃると思うので、うまく組み合わせるやり方がないのか、これは現場の方とも話しながらだと思うんですけど、せっかくですから「安全かつ快適に」というのはもちろんですけど、期間も限られている中で、できるだけ関西のよさを1人でも多くの人に知ってもらおうということも大切なことだと思うので、結局バランスだと思うんですけど、もう少しうまく回していくことができれば、もっと多くの方が、この関西パビリオンのよさと、関西のよさを知ってもらえるんじゃないかなと思うので、ちょっとここは提案です。

○三日月広域連合長　ありがとうございます。

それも大変重要な御提起で、実はそういう問題意識も持っていますので、この関西パビリオンでより多くの方々が、安全かつ快適に楽しんでいただけるような運用についても柔軟に見直して検討していきたいと思います。

それ以外何かございますでしょうか。

鳥取県さん、いいですか。

○亀井副委員　今、吉村委員が御提案されたように、やはり多くの人にもっと関西

パビリオンに入っていて、関西を知っていただくことが必要だと思いますので、運用とかできる範囲でしっかり検討していただけたらと思います。よろしくお願いします。

○三日月広域連合長 分かりました。

奈良県さん、奈良ウィーク好評ですよ。

○福谷副委員 おかげさまで、大体3,000人以上は常に入っているみたいですね。非常に失礼な言い方かもしれませんが、「奈良県は、予約は要りませんので」と言って一生懸命声かけをしていましたので、予約の関係で関西パビリオンへ入れなかった方を奈良県の催事に誘導させていただいたような形となっているのではないかと考えております。ありがとうございます。

○三日月広域連合長 おっしゃったとおり、この隣にある多目的広場で催事を奈良県さんに行っていて、待っている方にもお楽しみいただけるとか、予約しなくても楽しめるというPRはとても大事だと思います。

○吉村委員 オープニングで山下委員と一緒にさせていただいてありがとうございます。

本当に多くの方が来られてますし、横の催事場ですけど、数で言うと3,000人超えるぐらいとなると、この10日間の関西パビリオンとほぼ同じぐらいの数が奈良マーケットに行かれていますので、そういう意味でもやっぱり予約なしで多くの方が気軽に入れて、奈良の魅力を知っていただける。せっかくパビリオンがあるんだから、ちょっとパビリオン動線が真ん中からウォークする形じゃないので人流の問題あるかもしれませんが、でも、それでも奈良マーケットと3,000人で、関西パビリオンで大体3,000人から4,000人だとすると、やっぱりもっと関西パビリオンのポテンシャルって高いんじゃないかなと思うので、そこを広げていけばいいんじゃないかなとは思っています。

○三日月広域連合長 なるほど、ありがとうございます。

先ほど鳥取県さんが言っていたことも併せて、せっかく準備してつくったブース、パビリオンなので、より多くの方に見ていただけるように運用も含めて改善していきたいと思います。また、催事と組み合わせて誘導してお楽しみいただくということもやっていきましょう。

ほかよろしいですか。

引き続きこの大阪・関西万博を皆で盛り上げていきたいと思います。

三重県さんと福井県さん、よろしゅうございますか。

引き続きどうぞよろしく願いいたします。

それでは、ここで御退席ということで、続いて協議事項に入ります。「令和8年度国の施策・予算に対する提案の実施について」ということで、まず本部事務局から御説明をお願いいたします。

○本部事務局 資料2を御覧ください。国への提案につきましては、関西広域連合が設立された翌年度の平成23年度から春と秋に提案書をまとめ、提案を行っております。今年度につきましても、春と秋に実施することとして、今回、春の提案を取りまとめましたので御説明します。

1の「提案の趣旨」は分権型社会の実現、関西における広域的な課題の解決等のために、国に対して提案を行うことです。

2の「昨年度からの変更点」としては2点です。まず、これまでの6月に実施しておりました提案活動を1か月程度早めること、そして提案書のタイトルの見直しです。提案活動を早める理由は、各省庁の概算要求作業の早い段階から関西の声を届けるためと、構成団体が行う独自の提案活動において広域連合の提案も一緒に届けていただくためです。そして表題の見直しについては、これまで「国の予算編成等に対する提案」としておりましたが、実際の提案内容は、予算編成にとどまらず、国の施策制度に対する提案が多いためです。

右側に記載しています3の「新規提案項目」として5項目です。

まず、子ども子育て政策や多様な主体が活躍できる社会を構築するため、これまで広域連合で提案項目になかった子ども医療費助成制度とアンコンシャス・バイアスの解消を加え、また、空飛ぶクルマの商用運航実現に向けての離着場、パーティポートの設置支援、そして賃上げ、外国人材の受入れによる人材確保についてです。

4の「提案書の構成」は昨年度と大きな変更はなく、記載のとおりです。

5の「今後のスケジュール」につきましては、広域連合委員会の承認をいただければ、5月中を目途に提案活動を行っていきたいと考えています。

資料2ページから6ページは、全ての提案項目を記載しており、新規項目については「新規」、提案文を修正した部分につきましては、と付記しています。

7ページ以降に新規と修正した提案の提案文案を記載しています。

説明は以上です。

○三日月広域連合長 特に7ページ以降のところに、前回提案からの修正点ということで、例えば防災庁とか、空港の機能強化とか、北陸新幹線の問題なども新たに付け加えていることを詳しく説明しています。

何か御意見、御質問等ございますか。

ここに万博のこととか、運用の改善とかで特に求めるようなことはないか。

○吉村委員 もう始まっているので。

実際、博覧会協会が中心だから、そこは大丈夫かなと思います。

○三日月広域連合長 はい、ほか何かございますでしょうか。

それでしたら、この内容で進めていくこととしたいと思いますので、もし何かございましたら、皆様方から御意見等いただければと思います。

それでは、続いて報告事項に移ります。「関西広域帰宅困難者対策ガイドラインの改訂について」、こちらは広域防災局からお願いします。

○広域防災局 資料3を御覧ください。関西広域連合では、これまで構成団体や事業者などの関係機関によって構成し、帰宅困難者対策を検討する「帰宅支援に関する

協議会」を設置して、関西圏におきます官民連携による対策の総合的支援として、「関西広域帰宅困難者対策ガイドライン」を、令和元年9月に取りまとめているところです。

2ページ目を御覧ください。今回は昨年7月に内閣府で「大規模地震の発生に伴う帰宅困難者等対策のガイドライン」が一斉帰宅抑制後の分散帰宅という、「帰宅していいですよ」と言ったときの、後の対応について帰宅行動指針の追加をされました。この改定されたことを踏まえまして、今回、その広域連合におけるガイドラインについても改訂を実施するものであります。

併せまして、令和5年1月に滋賀県などで発生しました大雪による列車立ち往生への対応についても、この協議会で検討しましたので、その結果についても反映しました。併せて別冊として整備している災害時の外国人観光客対策についても、時点修正を行うものです。

説明は以上です。よろしくお願いたします。

○三日月広域連合長　ただいま説明のあった内容につきまして、何か御意見、御質問ございますか。

どうぞ、齋藤委員。

○齋藤委員　先ほど御説明させていただいたとおりですけれども、各構成団体の皆様におかれましては、帰宅支援に関する協議会への御参画等ありがとうございます。

昨年8月に南海トラフの臨時情報の発表とか、1月には発生確率が80%程度に引き上げられたということなど、備えを充実させることが大事だということです。近畿圏で最大約280万人と想定されていますけれども、この帰宅困難者対策についてはしっかり備えていく必要があるということで、今回、内閣府のガイドラインの改定などを踏まえて反映しました。これから実務的にどう落とし込んでいくか、特に兵庫県もそうですけれども、大阪市内への通勤はすごく多いと思いますので、実際のところのオペレーションを考えると、そういった通勤対策については、大阪市内のケースが非常

に多くなってくるので、そのあたりをどういうふうの実効性のあるものにしていくかというところが、これから鉄道事業者さんなどとの連携になってくると思いますので、引き続き御協力をよろしくお願いします。

○三日月広域連合長　　ありがとうございます。

これも関西ならではの取組で、府県を越えて通勤・通学される方が多いということですので、こういった改訂を必要に応じてしながら、あとは実効性、実際にこのことがワークするように訓練ですとか、周知ですとか、様々な事業者の協力ですとか、そういうことに努めてまいりたいと思います。

また、労働組合の皆さんからは働く皆さんの安全ということで、この帰宅困難者対策等に自分たちもいろいろと関与、協力したい旨の御意向があることも聞いていますので、そういった方々との対話も必要に応じてやっていければと思います。

他に御意見等ないようでしたら、こういった方針で対策を強化してまいりたいと思います。

続きまして、「関西マスターズゲームズ2025の開催について」と「関西元気ウォーキングイベントの実施について」を一括して議題とし、まずは事務局から御説明をお願いいたします。

○広域観光・文化・スポーツ振興局スポーツ部　　資料の4をお願いします。まず、関西マスターズゲームズ2025の開催について御報告します。ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催に向けて生涯スポーツの機運を高め、成人スポーツの参加機会拡大を図るため、関西マスターズゲームズ2025を開催します。ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催が2年後に迫り、来年春には参加申込みが開始されます。

関西マスターズゲームズはワールドマスターズゲームズ2027関西で実際に行われる競技を府県市で開催します。今年度は昨年度より5種目増やし17種目で行います。多くの方々に御参加いただけるよう周知と機運醸成に努めてまいります。

続きまして、資料5をお願いします。日常的な運動習慣の定着・促進を図り、スポ

ーツの機運を醸成するため、スマートフォンを活用したウォーキングイベントを実施します。

構成府県市の全てにウォーキングコースを設け、GPSを活用し、コースを踏破すると賞品応募が可能となります。アプリのマップにはワールドマスターズゲームズのキャラクターである「スフラ」を登場させるなど、気軽に楽しく取り組めるイベントです。関西スポーツ月間である5月から開始します。

アプリの登録者約15万人に関西スポーツの日やワールドマスターズゲームズ2027関西の告知を行うほか、万博会場でもワールドマスターズゲームズのPRイベントを開催する方向で調整してまいります。

スポーツ部からは以上です。

○三日月広域連合長　　こういった内容について、皆様方のほうで何か御意見、御質問等ございますでしょうか。

2027年にはワールドマスターズゲームズ関西も開催いたしますので、生涯スポーツの聖地、関西としても、また、万博のレガシーにもつながると思いますので、こういったイベントを盛り上げていきたいと思えます。

続いて、「海外産業プロモーション事業における海外企業向けビジネス情報サイトの公開について」ということで、こちらは広域産業振興局から御説明をお願いします。

○広域産業振興局　　資料6を御覧ください。

広域産業振興分野では、関西広域産業ビジョンに基づいて、個性豊かな地域魅力を生かした地域経済の活性化に取り組んでいるところです。過去の海外プロモーション事業では、海外の展示会等でのブース出展を実施してきましたが、令和6年度は大阪・関西万博の開催に合わせて、関西を来訪される海外の政府機関や企業向けに、視察先候補となる企業や産業施設を紹介するウェブサイトを制作、公開しました。既に60か国以上の代表で構成される関西領事団を通じて在関西の領事館等への案内も実施しているところです。

本サイトの名称は「Your Gateway to Kansai Business」で、海外企業等が関西でビジネスパートナーを見つけるヒントとして、カーボンニュートラルやライフサイエンスなど、資料の中ほどに記載の5つの産業分野で域内に拠点を持つ合計30社の注目企業を掲載しています。掲載企業は全て見学可能となっています。令和7年度は掲載企業を20社追加して、内容の拡充を図ることとしています。

資料の下ほど4でウェブサイトの概要を記載しています。非常に小さくて恐縮ですが、その左上では関西の産業の強みやポテンシャルについて記載したトップページ、また、その左下は関西に進出してビジネスを展開している海外企業のインタビュー、また、右側は各企業の紹介ページでして、英語対応や見学の費用などの見学の条件、また、問合せの担当者なども記載しています。

各構成府県市には経済交流部会を通じて情報共有を行い、PRを行ってもらっているところですが、いよいよ万博が開幕して多数の海外ビジネスミッション団が訪れている中、次ページ参考資料1ページ、2ページ、3ページにございますが、こちらのチラシ等も活用して海外政府機関やビジネスミッション団の来訪時の御案内、また、海外事務所等からの発信、海外企業からの視察訪問に関する相談対応など、様々なチャネルを通じてPRに御協力していただきたいと存じます。

参考に4ページですが、大阪府の例を参考資料2として添付しておりますので御覧ください。大阪府の情報とともに広域連合の、この本サイトのQRコードも掲載したチラシを活用して、海外の政府機関や海外企業等が参加するイベントなどで、本サイトを紹介しているところです。このサイトにつきましては万博閉幕後も継続運用を予定しています。万博で高まった関西への関心も域内企業とのさらなるビジネス増進につなげてまいりたいと考えています。

構成府県市の皆様には引き続きのPRや取組への御協力をよろしく申し上げます。

広域産業振興局からは以上でございます。

○三日月広域連合長      今、御説明のあった内容について何か御意見、御質問等ござ

いますでしょうか。

吉村委員、どうぞ。

○吉村委員 事務局から説明ありましたが、今、万博も開幕して結構多くのビジネスミッション団が来られています。行政の代表、国の代表の方はもちろんですけど、経済ミッション団もいらっしゃってまして、例えば、明日であればイタリアの経済のミッション団が来られて、私も挨拶をさせてもらう機会があります。結構多くのビジネスミッション団が来てますので、これを機に、やはりその関西の域内に投資であったり、企業の呼び込み、ビジネスのマッチングにつなげていきたいと思っておりますから、このサイトを立ち上げましたので、ぜひ、様々な場面でのPRの御協力よろしく願いしたいと思っております。

○三日月広域連合長 この機会を最大限に生かすための、こういうサイトを大いに活用していきたいと思っております。

この参考資料の右上の浜辺にあるこの白と青とピンクのものは貝殻か。

○広域産業振興局 そうです。貝殻で作ったヘルメットの「シェルメット」です。

○三日月広域連合長 非常におしゃれで、そして頑丈という、こういうものを製造される企業の紹介をしたり、また、マッチングをしたりということで、サイトを活用しようということですので、こういう情報を共有しながら取組を広げてまいりたいと思っております。

続いて、「令和7年度の関西脱炭素アクションの実施について」、こちらは広域環境保全局から御説明をお願いします。

○広域環境保全局

資料7を御覧ください。関西広域連合では、令和3年11月に関西脱炭素社会実現宣言を行い、一丸となって脱炭素社会の実現に向けて取り組むという積極的な姿勢を示すことで、環境先進地域関西をアピールし、構成団体の取組を後押ししています。この宣言に基づきまして、脱炭素社会を実現するため、住民・事業者・団体など多様な

主体の皆様と連携しながら、オール関西で取り組んでいまして、その一環として、省エネを始めとした取組を広く呼びかける関西脱炭素アクションを実施しています。

2 ページ目にポスターデザインを掲載しています。今年度は、大阪・関西万博と連携した形で、夏のエコスタイルでは脱炭素の行動変容を促す「EXPOグリーンチャレンジ」への参加を、また、冬のエコスタイルでは万博をきっかけとした取組をより一層進めていただくよう呼びかけを行います。

構成団体や事業所、団体の皆様には、このポスターがより多くの方の目に触れるようデジタルサイネージの活用も含め、御協力いただきますようお願いします。

説明は以上です。よろしく願いいたします。

○三日月広域連合長 今、あった説明に何か御意見、御質問ございますか。

今回は「EXPOグリーンチャレンジ」も併せてやっておりますので、取組の内容をさらに広げて皆さんに御参加いただけるように、景品も何か当たる、そういう取組のようですので、PRをしていきたいと思えます。

続いて、「地方分権改革に関する提案募集について」、こちらも本部事務局からよろしく願いいたします。

○本部事務局 資料の8を御覧ください。内閣府地方分権改革推進室からの提案募集について、4月18日が締切りとなっていて、関西広域連合としては、資料のとおり提案しています。その内容について御説明、御報告します。

大きくは2点ございまして、1つ目は資料1ページ目の2、関西広域連合提案事項です。関西広域連合からの提案として、広域行政ブロック単位の広域連合の役割の法制化や権限移譲要請権の抜本的拡充に関する3項目を提案いたしました。

2つ目は、資料2ページ目の3、関西広域連合と構成団体との共同提案になります。具体的な内容としては、資料3ページ以降に記載しています9項目について共同提案しました。

報告は以上になります。

○三日月広域連合長 この内容につきましても何か御意見、御質問等ございますか。提案の報告でございます。

ないようでしたら、続いて、「琵琶湖・淀川流域対策に係る取組について」を議題とし、本部事務局からまず御説明をお願いいたします。

○本部事務局 令和6年度の琵琶湖・淀川流域対策に係る取組について、御報告します。

流域府県市で構成する水源保全連絡会議におきまして、「いのち育む“水”のつながりプロジェクト」の3つの柱立てに基づき取組を実施しました。

1つ目の流域の現状と課題の把握について、資料1ページ目の中ほどの1番、森林整備の効果に関する調査研究を実施し、森林整備の有無により、水循環への影響をシミュレーションし、森林整備の効果を評価しました。森林整備を行うことで、雨などが地下深くに浸透して時間をかけて河川へ流出する水の量が増え、雨等が少ない時期の河川の水の量が増加することが確認できたところです。

2つ目の水のつながり等の情報発信として、資料1ページ目の2、万博催事に向けた展示物の制作を行いました。関西パビリオン多目的エリアで7月30日から8月3日にかけて、「いのち育む“水”のつながりウィーク」を開催予定でして、そこで展示する動画や、イラストパネルを制作しました。

3つ目の住民等の参画による機運醸成等として、資料2ページ目の3で、ごみゼロ大作戦として、琵琶湖疏水周辺等において清掃活動を実施するとともに、琵琶湖・淀川流域シンポジウムを開催しました。清掃活動には約110名、シンポジウムには約150名の方に御参加いただきました。

資料3ページ目の4で、これらの取組を年度末に有識者会議の琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会へ報告し、助言等をいただきました。研究会の助言等を踏まえまして、令和7年度の委託調査の内容等を検討の上、取組を進めてまいります。

報告は以上になります。

○三日月広域連合長　この内容につきましても何か御意見、御質問等ございますか。

どうぞ、久元委員。

○久元委員　この淀川の水源、つまり琵琶湖の水、淀川の水というのは、大変大事で、神戸市を含む阪神地域は、この淀川の水に頼っているわけです。阪神水道企業団の構成市は、尼崎、西宮、芦屋、神戸だったんですけれども、宝塚市がこれに加わり、今年度からは明石市も、これに加わるということで大変大事です。やはり、この淀川水系としての重要性、つまり水源としての重要性、それから生物多様性、つまり琵琶湖・淀川流域が、この関西全体を支えているということの意義を、あるいはその内容等、あるいは科学的知見というものをもう少し関西全体で、神戸、関西も含めて共有するほうがいいのではないかと。これは大変意義のある取組ですけれども、どうも専門家の中で議論をしてるにとどまっているのではないかと思いますので、これは令和6年度に、これが終了するよう見えますけれども、やはりこの取組をもう少し違う形でも、あるいはもっと広げる形でもいいから、もう少しこの流域住民に浸透する形で、関西広域連合の重要プロジェクトとして、しっかり位置づけて継続していただくというのがいいのではないかと思います。

○三日月広域連合長　ありがとうございます。

ほか何か御意見、御質問ございますか。

今、久元委員がおっしゃったようなことについては、私も同様の問題認識を持っていますし、万博でも「いのち育む」という、いのちの輝きや未来についての様々な展示、発信もされておりますし、関西はこの水のつながりというのが、一つの有機的なつながりの象徴としてもあろうかと思いますので、少しこれまでやってきたことを検証しながら、これからさらにどういう取組ができるのか考えて、皆さんに相談できる内容を提起したいと思います。

ほかよろしゅうございますか。

以上で予定した議題は全てでございますが、3点の資料配布をさせていただいてお

ります。大阪・関西万博の会場催事等についても資料で入れておりますし、この堺市さんからの資料の提出に際して、永藤委員のほうから御発言もあるようですので、よろしくお願ひします。

○永藤委員　お時間頂戴しまして、ありがとうございます。

5月10日から13日にかけて実施します万博会場での堺市主催の催事について御紹介させていただきたいと思ひます。

チラシがお手元にあるかと思ひますが、チラシでしたら裏面、また、データだと2枚目を御覧いただきたいと思ひます。左上の写真は万博会場の東ゲートに近いポップアップステージ南においての催事「Peaceful Oasis 万博の大茶会 おもてなしの舞台」と題しまして、表千家、裏千家、武者小路千家の皆様にご替わりで御協力をいただきまして、美しい所作や1日800服のお抹茶を楽しんでいただける大茶会を開催します。ステージでは茶の湯の実演に加えて、和洋の音楽パフォーマンスも行われます。

そして、ポップアップステージ南に隣接する屋内展示場のギャラリーEAST、チラシ上部の中央の写真ですが、「Timeless Retreat 未来社会の市中の山居 心を研ぎ澄ます静寂」と題しましたイベントも開催いたします。会場では、堺出身の竹工芸家、四代田辺竹雲齋さんに制作いただく自然の竹で編まれた茶室や自然の草花の中で囲まれた茶室で、現代アーティストの方々が製作された個性あふれる茶碗でお茶を楽しんでいただくアート茶会を実施します。三千家の皆様による伝統的な茶の湯と堺の歴史を踏まえた新しい体験で、現代や未来にも大切な茶の湯の心や千利休が生まれ育った堺の魅力をお伝えしたいと思ひます。

大変にぎやかな万博会場の中で、茶の湯文化を感じていただくのは貴重な機会だと考えていまして、私自身もとても楽しみにしています。いずれも無料ですのでお気軽にお立ち寄りいただきたいと思ひます。堺市の催事を通じて万博会場で日本の美しさや美意識を改めて感じていただひて、堺はもちろん大阪・関西を訪れたいと思ひていただけるように力を注ぎます。

以上です。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。

大変楽しいPR、企画をお知らせいただきましたので、また、皆で参加したいと思えます。

ほかに何かございますでしょうか。

それでは少し時間超過いたしました、以上で第176回の関西広域連合委員会を終了いたします。

ありがとうございました。

○本部事務局 それでは、引き続き記者会見に移りたいと思えます。質問をお受けいたしますので、私が御指名いたしましたら、所属とお名前をおっしゃってから質問をしていただくようお願いいたします。

御質問ある方、挙手をお願いしたいと存じます。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、今、手を挙げられた男性の方お願いいたします。

○京都新聞 すみません。京都新聞の古市と申します。よろしく申し上げます。

まず、冒頭で関西パビリオンの動向について報告があり、順調に入場者数伸びているということでした。関西パビリオンでは各府県が出展ブースを設けて誘客を狙っているということは大きな目的かと思えますけれども、訪日客を含めて、まだ、万博も始まったところではありますけれども、地元の我が府県にはその誘客がどれぐらい来ているのか、そこら辺の手応えを伺えますでしょうか。

三日月広域連合長に申し上げます。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。

先ほど来、皆で確認していたとおり、万博開幕後11日、12日と過ぎてきて100万人を突破して、大変多くの方々が御来場されていると、関西パビリオンにも多くの方が御来館されていますので、さらにお楽しみいただけるように工夫と改善をしていこう

ということについて議論しました。

また、それぞれの府県に、この大阪・関西万博からどれぐらい来ていただいているのかということについては、まだ、データが十分取れていないところ等もあろうかと思っておりますので、また、一定期間が過ぎましたら、そういう効果等についても皆で検証、共有していただければいいなと思っております。ただ、確実に滋賀県においても、万博と、そして滋賀県への来訪とセットで御移動される方、御来訪される方も、実際ツアーもそういった形で出てますので、そういう効果というのは確実に表れてくるんだろうなと思っておりますが、今後、暑くなってきたときも、また、さらにインバウンドも含めて来ていただけるように、努力とPRをしていきたいと思っております。

○京都新聞 ありがとうございます。

もう一点、琵琶湖・淀川流域対策に関わる取組で、久元委員も継続的にやっていくことが大事ではないかという御提案がありましたけれども、「いのち育む“水”のつながりプロジェクト」で、見えてきた効果であるとか、手応えと、続けていくのであればどういったところに焦点を当てていったらいいのかというアイデア、御意見をちょっと伺ってみたいです。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。

この資料9にありますように、昨年度やった取組の報告をしました。特に万博が、いのちについての提起ですので、琵琶湖・淀川流域が育む、もしくはもたらす水の恵みについても考える取組などを行ってきました。万博に向けて200日前、300日前、淀川等で清掃活動もずっと積み重ねてきたということがございますが、これで終わるのではなくて、関西の人々を育む水の恵み、生態系も含めてもっと効果的かつ強力に考えられるような、そういう取組を検討すべきではないかということ、久元委員から御提起いただいて、これは広域連合長としても大変重要な御提起だと受け止め、皆様方もほぼ御賛同いただけたと思っておりますので、今後に向けてどういうことが行えるのか考えていきたいなと思っておりますし、この琵琶湖・淀川流域だけではなくて、いろん

な水系が、例えば大阪湾や日本海に流れ注ぐ形で、この関西エリアの人々に利用されています。また、そのことが地域をつなぐ、大切なものにもなっていますので、そういう視点でも、さらにどういう研究や活動ができるのかというのを皆で議論して決めていきたいなと思っております。

○京都新聞　ありがとうございます。

○本部事務局　ほかいかがでしょうか。

では、ないようでございますので、これで会見を終わります。

どうもありがとうございました。

閉会　17時27分